

# 84年を闘い抜いて

厳しい時こそ団結しよう

— 新小岩支部 関 豊 —

3年前、マスコミを通して「ヤミ・カラ」キャンペーンを行い、国鉄労働者「国賊」論を布石として、翌年、第二臨調は国鉄「分割・民営化」「職場規律の厳正」攻撃を打ち出し、国鉄労働運動解体攻撃が本格化したわけですが、今年は特にその攻撃の本質がはつきりした年であったろうと思います。

6月21日の仁杉国鉄総裁の発言、8月10日、監理委員会の第二次緊急提言などから、「分割・民営化」に向け現体制のうちにできるものはずべてやってしまおうという意図であり、まさに軍事大国化・改憲、「戦後政治の総決算」をかけた国鉄労働

## 各支部の副支部長が闘う



運動解体攻撃であることが明確になったといえます。

一方、今こそ労働者が一丸となつて闘わねばならないときに動労「本部」革マルは敵のすさまじい攻撃に恐れおののき、丸裸になって延命策を講じています。

「雨の日には山に登るな」、「骨身を削って働こう」、「国鉄を国鉄として残すために自民党議員にお願いする」と称し、「59・2ダイ改」「昇給協定改悪」「動乗勤改悪」

「余剰人員の解消策」などなど、率先して裏切り妥結を行ってきました。また、かつてマル生闘争時に鉄労が当局に率先協力しながら組織拡大をはかったように、国労、動労千葉

## 徹底した職場抵抗闘争を展開しよう！

— 幕張支部 秋葉忠夫 —

わち退職を前提とした休職・出向・一時帰休の首切り提案をしてきました。それに追いつくをかけるように、動乗勤の効率化を図ると称して要員生みだしを狙った、60・3ダイ改が一方的に打ち出されたのです。

私も副支部長となってまだ一年生です。まだまだ未熟者ですが各役員や組合員等との連携を密にして、又対話を一回でも多く開催していく中で、この超反動的な「三本柱」、労働者を人間として見ないこの理不尽な攻撃、運転保安を軽視した「60・3ダイ改」攻撃、検修基地における台検の廃止、交検・仕業の回帰キロ延長等々の攻撃について、かつて我々が、ワッペン闘争および入浴闘争等でつちかった組合員の団結力を發揮して闘いぬく決意です。

三里塚闘争と結合した職場生産点での闘いの重要性を認識し、八五年に向けて闘いぬこうではありませんか。

全国で2万54名以上の首切り、101基地廃止等の「60・3」を許すな！

「60・3」粉砕で総決起集会  
蘇我支区管内で「60・3」を闘う動労千葉青年部（84・11・29）

蘇我機関支区  
廃止絶対反対！  
約4千名蘇我支区青年部

60・3 ダイヤ改正で  
国鉄を便利にします

具体案策定を表明  
「採算性などなお問題」

臨調国鉄攻撃  
本格段階に突入  
政府当局は「分割民営化」にふみ切った。10万人の首を切るつもりだ。「59・2」（2月）、「動乗勤」（4月）、「三本柱」（10月）、「60・3」の総攻撃を矢張り早くかけてきた。

「60・3」の総攻撃を矢張り早くかけてきた。